

# ハニーウェア 「琺瑯製ケトル・ポット 取扱説明書」

お鍋をご購入のお客様は、裏面の琺瑯製ナベ取扱説明書をお読みください

この商品は、ご家庭でお湯を沸かすために使うものです。ご使用になる前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、この商品には「家庭用品品質表示法に基づく表示」が別途添付されていますので、あわせてお読みください。

## お使いいただく前のお願い

- ・初めてご使用になる前に、取っ手やツマミにぐらつきやひび割れなどの不具合がないか安全性をご確認ください
- ・本体内面は、耐久性の高い耐熱水性釉薬仕上げのため、紺色になっています
- ・本体底面にシールが貼ってある場合には、必ずシールをはがしてからご使用ください（ゆるま湯にシール部をひたすとはがしやすくなります）
- ・「はがさないでください」という表記のあるシールは、重要な注意事項を記載していますので、はがさずにご使用ください
- ・初めてご使用になるときは、食器用洗剤を使いスポンジ等で内面をよく洗ってください
- ・品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合にはご使用を取りやめ、お買い求めの販売店、または販売元までご連絡ください

## 琺瑯製品をもっと知っていただくために

- ・琺瑯は金属の表面にガラス質を高温で焼きつけたもので、衛生的で耐酸性に優れています
- ・ガス火はもちろん、IH（電磁）調理器にも適しています（琺瑯製品の底径サイズにより、調理器に反応しない場合がありますので、IH調理器の取扱説明書等をご確認ください）
- ・琺瑯表面は、ガラス質のため非吸着性に優れており、においが付きにくく、滑らかで洗いがやすいので、清潔さを保ちやすいという特徴を兼ね備えています
- ・琺瑯は製造上、製品の端部に釉薬が定着しにくく、この部分が黒く見えることがあります。これは一層目の琺瑯面で、不良や不具合ではありません。また、製品によっては、工程上、製品の一部をフックで吊るして焼成するため、点状の吊り跡が残り、上記同様黒く見えることがあります。品質、及び使用上問題ありませんので安心してお使いください

**Honey Ware**® Honey Ware from japan since 1947


ハニーウェア


販売元 富士ホール株式会社 〒111-0052 東京都台東区柳橋2-4-4 03(3851)7241


http://www.fujiware.com/


# お取扱上の注意


下記の禁止・警告・注意事項は、安全にご利用いただく上で特に重要な項目ですので、必ずお守りいただきますようお願い申し上げます  
誤った使用法は、火傷やケガの原因となる可能性がありますので、本書を熟読の上、正しくご利用ください


 空焚きしないよう十分ご注意ください。万一空焚きしてしまった場合は、水をかけたり、水につけたりして急冷しないでください。急冷しますと琺瑯はガラス質のため、ヒビ割れなど破損の原因になりますので、自然に冷めるのを待ちください。


 湯沸かし中やその直後、本体は大変熱くなっています。火傷の危険がありますので、手を触れないでください。特に幼児の手に触れることの無いよう十分ご注意ください。

 湯沸かし中やその直後、取っ手やツマミ等が熱くなっていることがありますので、ご注意ください。


 取っ手やツマミが琺瑯製の製品（ドリップポットなど）は、加熱中やその直後は大変熱くなっています。必ずミトンやフキン等を使用し、十分注意の上、ご使用ください。


 製品はコンロ（ごたく）の中央に置き、炎が底面より大きくならないよう火力を調節してください。炎が底面からはみ出した状態ですと取っ手が焦げたり、変形による破損、また取っ手の加熱による火傷の危険があります。2口以上のコンロを同時に使用するときは、隣接するコンロの炎が取っ手に当たらないようご注意ください。

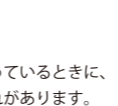
 湯沸かし中は、必ず取っ手を立ててご使用ください。倒して火にかけますと取っ手が過熱し、火傷をする恐れがあります。また、取っ手が破損し、脱落する危険性もありますので、十分ご注意ください。


 フタをせすずにお湯を沸かさなでください。蒸気で取っ手が熱くなり大変危険です。


 沸騰したら必ず火を止めてください。


 沸騰直後にお湯を注ぐと熱湯が飛び散ることがあり危険です。火を止めて15秒ほど待ってから注ぐようにしてください。


 お湯をマホービン（ポット）等に注いだ直後や、本体内部にまだ熱湯が残っているときに、取っ手を持ったままフタを開けないでください。熱い蒸気により火傷の恐れがあります。





 ストープの上でのご使用は厳禁です。ストープの上で使用しますと本体が倒れる恐れがあり、火傷の危険があります。


 満水の状態では使用しないでください。容量の表示は満水容量なので、その60%～70%を目安にご使用ください（機種によって実用量に違いがあります）熱湯が吹き出した場合、ガスの火を消してしまうことがあります。また、火災や火傷など事故の危険性がありますので、火加減や水量に十分ご注意ください。


 取っ手、取っ手の付け根部、ツマミ等がヒビ割れや変形、破損をした場合使用を中止してください。また、ご自分で修理・改造してご使用になるのはおやめください。脱落による火傷など事故につながる恐れがあります。

 木製部品（ハンドル、ツマミ等）のある製品は、食器洗浄機での洗浄はできません。木製部品の変形・破損等の恐れがあり危険です。

 小ぶりなケトルやポットなど、本体が小さいためにごとくにきちんと乗らない場合、ごたくの上にもち網などを置き、安定性を確保してからご使用ください。

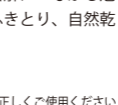
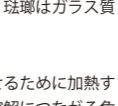
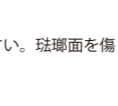
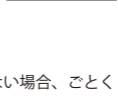
 スチールたわしや磨き粉、研磨剤の入ったクレンザーは使用しないでください。琺瑯面を傷つけることになります。

 ぶつけたり、高いところから落とすなど、強い衝撃を与えないでください。琺瑯はガラス質のため、製品表面にヒビ割れが生ずる恐れがあります。

 ＊ご使用後＊乾燥のための空焚きをしないでください。洗った後、乾燥させるために加熱すると空焚き状態になります。空焚きしますと、琺瑯層のヒビ割れや底面の溶解につながる危険性がありますので、絶対にしないでください。水分は柔らかい布などでふきとり、自然乾燥させてください。

クッキングヒーターでご使用の際は ※お使いのクッキングヒーターの取扱説明書に則って正しくご使用ください

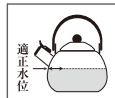
- ・空焚きは絶対にしないでください。空焚きは極度に高温になるため、琺瑯が溶解しクッキングヒーター破損の原因となります
- ・IH調理器でご使用の際は、必ず中レベル以下からご使用ください。琺瑯製品は鉄とガラスでできているため、調理開始からレベル強で入力すると、鉄とガラスの熱膨張係数の差異により琺瑯層にダメージが生じひび割れや剥離が発生する恐れがあります
- ・効率よく加熱するために、底についた水分はきれいに拭き取ってください
- ・空焚きや落下などで変形やがたつきなどの異状が生じた場合は、ただちに使用を中止してください



※この冊子は必要な時に読めるよう、大切に保管してください

## 笛吹ケトルは、以下の点にもご注意ください

- ・確実に笛を鳴らすためにお湯を沸かす前に蓋をしっかり閉め、笛部の水分をよく切ってからご使用ください
- ・右図のように必ず適正水位以下でご使用ください。吹き出し、笛鳴り不良の原因となります。また、水が少なすぎてもきちんと笛がなりません  
※適正水位とは、本体と注ぎ口の接合部の下端の位置です
- ・ガス火が本体底面から大きくはみ出した状態で加熱をつづけると、笛部の損傷により笛が鳴らなくなる恐れがありますので、適正な火加減でご使用ください
- ・笛が鳴り始めたら、火を止めてください
- ・沸騰直後は笛部が熱くなっていますので、火傷をしないよう十分注意しながらお取扱いください



## お手入れについて

- ・スチールたわし、磨き粉などの使用は、琺瑯面を傷つけます。ご使用後は食器用洗剤を使い、スポンジでよく洗い、乾燥させてください
- ・お手入れが不十分ですと水道水の微量成分（カルキ）が固まり、ケトルの内部に白い粉状のものが発生します。こびりつくようになりやすいため、よく洗い水気を拭き取ってください。また、水をつぎ足しながら長時間お湯を沸かしつづけることも、上記同様にカルキ成分の発生を誘発する恐れがありますのでご注意ください

## リング巻き琺瑯製品のお手入れについて

- ・製品端部を衝撃等から保護するために、ステンレスリングを巻いていますが、ご使用中にリング内に水分が入り、内部からサビが出る場合がありますので、長時間水の中に浸けておくことは避けてください
- ・ご使用後は、特にリング巻き部は柔らかい布などで水気を拭き取り、乾燥させてから収納保管してください
- ・サビが発生した場合は、出来るだけ早めにスポンジたわし等で洗い落としてから水分を拭き取り、よく乾燥させてください

## 木製部品を使用している製品について

- ・長時間木部を水に浸けておかないで下さい。木製パーツ部の過度な水分吸収・乾燥により、変形や割れを誘発し、またハンドル等の内部の金属製ネジの腐食により、破損や脱落を引き起こす可能性があります